

2025 年 10 月 16 日
株式会社レボインターナショナル**経済産業省「グローバルサウス未来志向型共創等事業（大型実証 ASEAN 加盟国）」に採択****～ジャトロファ由来バイオ燃料の大規模実証を開始、GX 燃料供給モデルの構築～**

株式会社レボインターナショナル（本社：京都市下京区、代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「当社」）は、このたび経済産業省による「グローバルサウス未来志向型共創等事業（大型実証 ASEAN 加盟国）」第 1 回公募において補助を受け、ベトナム国におけるジャトロファ由来バイオ燃料製造の実証プロジェクトを開始いたします。

本事業では、当社が独自に開発した植物栄養剤を活用し、ベトナム国において 11,000ha のジャトロファ栽培を実現するとともに、日産 30,000ℓ のバイオディーゼル燃料製造体制構築に取り組みます。栽培・搾油・燃料製造までを一貫して行う総合的なモデルは、これまで例の少ない大規模実証として実施され、日本発の GX 燃料技術の国際展開に資する挑戦的な取り組みです。

○類似事業との相違点

1. タイ国石油公社 PTT へ納入した燃料化プラント（2007 年）

複数種の原料品質に対応したバイオディーゼル製造技術を用いた実証です。既存ジャトロファオイルを原料として燃料製造工程の技術検証を行ったものであり、ジャトロファ自体の大規模栽培は対象としておりません。

2. ベトナム国におけるジャトロファ小規模栽培および BDF 導入実証事業（2008 年～）

ジャトロファの小規模試験栽培とベトナム国営鉄道（VNR）における BDF 導入試験を実施しています。技術的成果は得られたものの、商業化に向けた大規模栽培や製造設備導入には多額の初期投資が必要であり、資金調達が困難なため事業化には至っていません。

○政府支援の必要性

本事業におけるジャトロファ由来バイオ燃料の大規模栽培・製造設備導入には、初期投資として総額約 61.5 億円の資金が必要と見込まれており、そのうち補助対象経費は 59.5 億円、採択された補助金額は 39.7 億円となります。実証事例が少ないことから中小企業単独での調達は困難であり、本事業の推進には政府支援が不可欠です。今回の補助金支援により、初めて商業化に向けた実証が現実的に実施可能となります。

○事業の意義・社会的効果

本事業の大規模一貫実証を実現することにより、日本発の GX 燃料技術を国際展開できるとともに、国土交通省の SAF 導入方針や、国際海事機関（IMO）の温室効果ガス削減方針への対応に貢献します。また、将来的な国内の研究開発部門での雇用創出や、製造拠点への追加投資を通じた地域経済への波及効果も期待されます。

本事業の採択につき、既に複数の企業様からご支援・協力をいただいておりますが、今後さらにご参画・ご協力を希望される企業様は当社窓口までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社レボインターナショナル コーポレートサービス部 奥村
本社：075-353-2277 Mail：revo-pr@e-revo.jp